

名経大通信

第10号

2004年7月15日

名古屋経済大学

<http://www.nagoya-ku.ac.jp/>

P1-4 特集 新学部誕生へ

人間生活科学部《幼児保育学科・管理栄養学科》設置認可申請中)
短期大学部 キャリアデザイン学科(設置構想中)

P5 FACE to face
ゼミナール訪問

P7 Local
消費者政策で講演会

P9 People
親子で大学院生
エッセイ「僕の資格取得」

P6 Information
学生たちの悩み
特別聴講生

P8 global
留学生と学長の対話

P10 Books & Author
旬刊誌「火鍋子」
船橋洋一氏の講演会



人間生活科学部誕生へ

四学部への体制確立

短期大学部にはキャリアデザイン学科

名古屋経済大学は今年で二十五年になります。母体の名古屋女子商業学校の誕生から数えると、二年後には市邨学園創立百年を迎えます。大学の教育と研究内容が大きく変わりつつあるなかで歴史的な曲折点に立ち、学生中心の大学、地域に根ざした大学の完成をめざしています。平成十七年度からは、幼児保育学科、管理栄養学科の二学科からなる「人間生活科学部」を新設し、経済学部、法学部、経営学部とともに四学部体制を固めます。また短期大学部では三つの学科をまとめた「キャリアデザイン学科」を新設し、保育科と二学科に改組することになりました。

（新学部設立準備委員会）

一九七九（昭和五十四）年、女子大学としては初の経済学部単科

大学の市邨学園大学がスタートしました。四年後、現在の名古屋経済大学と改め、あわせて男女共学制をとりました。その後も時代の変転に伴い、平成三年に法学部、同十四年に経営学部を設置しました。

この間、少子化はとどまることなく、志願者の確保が各大学の厳しい課題となっています。文部科学省の調べでは、十八歳人口は一九九二（平成四）年を頂点にして減少期に入り、ピーク時から実に六十四万人も減少しています。

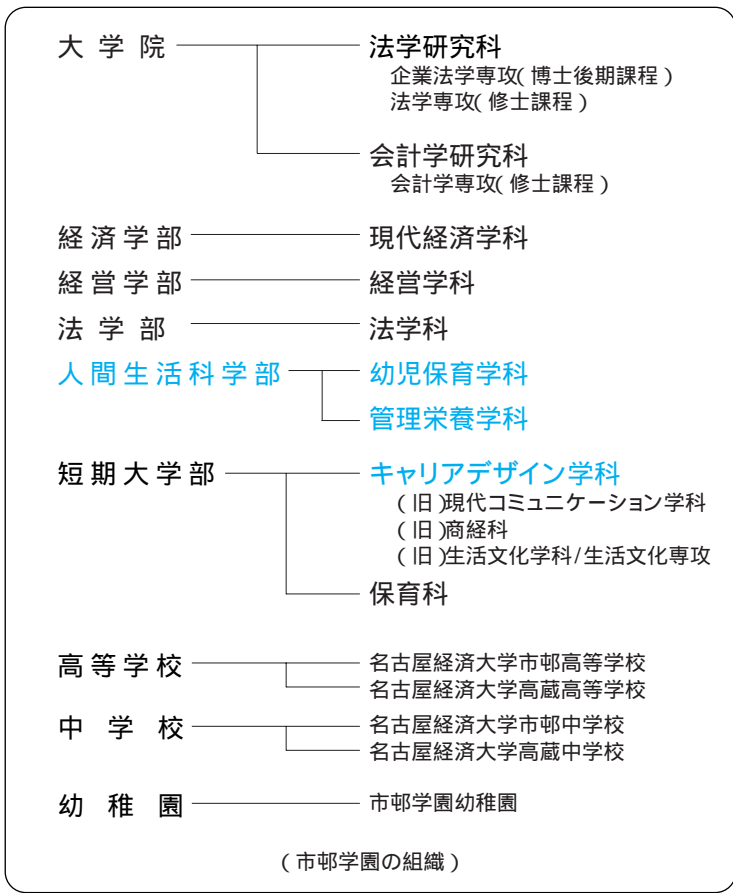
本学は伝統としている「一人に人物、二人に伎倆」の人物教育を基本に置き、カリキュラムの工夫、就職支援、資格取得講座などの拡充に努めています。その結果、堅実に将来を考える学生が育ち、平成十五年度の就職状況は経済学部九二・五％、法学部八八％の内定を得ました。

また、短期大学部でみますと、

内定率は九六・二％であり、保育科卒業生の九一・七％は保育所、幼稚園に就職することができました。新学部の新設は本学の名声と実力を高めるための教育環境の整備に他なりません。

「人間生活科学部」は、生命の誕生とともに日々の成長にとって不可欠な「保育」と「栄養」という基本的な営みについて、その社会的役割と意義を探究する学部です。そして、幼児保育学科では保育者（保育士・幼稚園教諭）を、管理栄養学科では管理栄養士の養成をめざします。どちらも人の生命と健康に関わる分野の人材として、人間の尊厳に対する深い敬愛と豊かな人間性をもって一人一人の発達及び生活を支援できる人材を養成したいと思えます。

約四十年前、創立六十年記念事業として設置された市邨学園短期大学は現在では名古屋経済大学短期大学部として総合学園の一体性を発揮していますが、理にかなない、実務を重視した教育を深めるため、商経科、生活文化学科生活文化専攻、現代コミュニケーション学科を総合した「キャリアデザイン学科」として生まれ変わります。



幼児保育学科

地域社会をリードする保育者の養成

石川昭義教授

(新学部設立準備委員会委員)

近年、子どもを取り巻く環境は大きく変化し、子どもの成長の異変が指摘されるようになりました。さらに、家庭の養育機能の低下を危ぶむ指摘もされ、育児の孤立化が進む中で子育て家庭全体を支援する必要性が高まっています。

その一方で、産業構造の変化に伴う女性の就労意識の変化は、乳児保育や延長保育へのニーズを大きくし、保育サービスが多様化しつつあります。また、最近では次世代育成支援や子育て支援の環境整備の中に、保育所や幼稚園が組み入れられようとしています。このような状況の中で、保育への期待や依存がますます高まるとともに、実際の保育現場では子どもと保育をめぐる諸問題が複雑かつ多様化してきていることから、それらに適切に対応できる専門的能力や問題解決能力を有した人材の養成が求められています。

幼児保育学科ではこのような時代の要請をふまえ、四年間の学修を通して、より経験を積んだ保育者を養成し、地域のリーダーとなつて活躍できる人材を養成していきます。

幼児保育学科の人材育成

幼児保育学科では、次のような

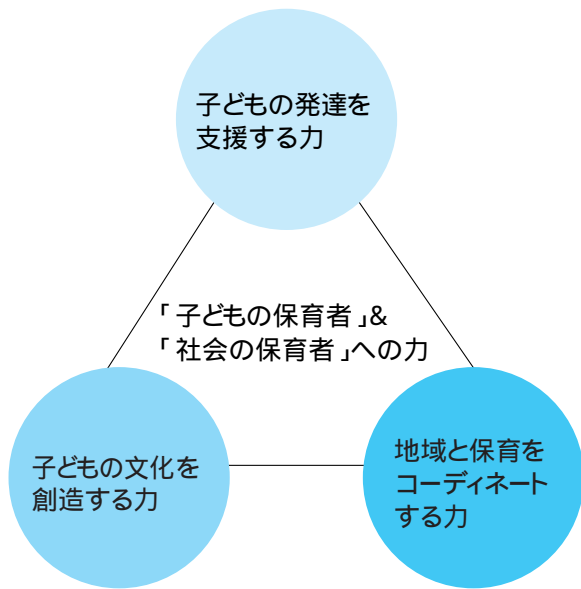
資格や免許を卒業と同時に取得することができません。

- ・ 保育士資格
 - ・ 幼稚園教諭一種免許状
 - ・ レクリエーションインストラクター
- 卒業後の進路では、保育所、幼稚園、保育所以外の児童福祉施設、子ども関連産業、行政、NPO等での活躍が期待されます。

幼児保育学科では三つの力を育てます

左図に示すとおり、幼児保育学科では、すべての科目を結集して特に三つの力を育てたいと考えています。それらは、「子どもの発達を支援する力」「子どもの文化を創造する力」「地域と保育をコーディネートする力」

幼児保育学科では3つの力を育てます



「子どもを育てる力」です。これらの力が、「子どもの保育者」のみならず「社会の保育者」としての推進力となつて、社会に貢献できる保育者を養成したいと考えています。

学外実習と「企業・行政実習」

保育士資格や幼稚園教諭免許状を取得するためには、学外実習が必修です。一年次から三年次まで、幼稚園実習・保育所実習・施設実習を行います。市邨学園幼稚園での見学実習も行います。四年次には「企業・行政実習」、いわゆるインターンシップがあります。

子どもを感じながら学ぶ

幼児保育学科の開設に合わせて

新しい設備を整えます。その一つが「プレイルーム」です。ここでは子どもの遊び場面や行動を観察しながら、子どもの心理や行動特性を学びます。また障害児保育の具体的な方法や障害児を持つ保護者への支援方法も学びます。

もう一つは「絵本ライブフリー」です。ここでは、児童文化財と呼ばれる絵本や紙芝居の意義を学びながら読み聞かせの練習を行います。そして、実際に子どもたちの前で読み聞かせできる機会を作りたいと考えています。人形劇のできるセットも用意しましたので、部活動で活用することもできます。これらの設備は短期大学の学生も使います。

短期大学部保育科との連携

名古屋経済大学短期大学部保育科では、昭和四十二年より保育者養成を行ってきました。来春からは、同じキャンパス内に二年課程と四年課程の、ともに男女共学の保育者養成課程を併設した、愛知県下初の大学が誕生します。短大の三十六年間の実績と経験を生かすとともに、それぞれの課程の特色を最大限生かして、わが国の保育者養成ならびに保育の発展に貢献したいと思えます。

管理栄養学科

保健医療スタッフの一員としての管理栄養士の養成

細谷徳治教授

(新学部設立準備委員会委員)

本学における栄養士の養成は、市邨学園短期大学家政科から現在の短期大学部生活文化学科食物栄養専攻に受け継がれ、これまで、多数の人材を輩出し、食を通じた健康づくりに大きく貢献してきました。

少子高齢化が進展する現代社会においては、食事は単なる嗜好だけの問題ではなく、人を育み、人の健康を左右するものとしてますます重要視されています。

現在、わが国では、ガン、循環器疾患、糖尿病などの生活習慣病の発症や進行を防止するため生活習慣や食生活の改善が二十一世紀の国民的な課題となっています。

このような社会的背景を基に、平成十四年の改正栄養士法の施行に伴って管理栄養士・栄養士の果たすべき役割が明確にされました。とりわけ、チーム医療の一員として「傷病者に対する療養のために必要な栄養の指導」には、医師、看護師、薬剤師などの医療スタッフの一員として高度な専門的知識、技術・技能が必要であり、高い資質と高度な力量を有する管理栄養士・栄養士が求められています。

管理栄養学科の特長

本学の管理栄養学科では、学生

個々人の可能性を見出し、(一)最新の充実した設備で、(二)少人数の実習により技術を磨き、(三)各専門家による根拠に基づいた高度な知識を修得し、実践的能力の高い管理栄養士・栄養士の養成を目指します。

履修モデルと進路

履修モデルは医療・福祉系とフードマネジメント系を設定し、病院や社会福祉施設等における臨床栄養分野と食品の製造・流通・販売や食事を提供する多くの分野で活躍が可能なカリキュラムを用意しています。

医療・福祉系では、長年、臨床栄養の第一線で活躍中の臨床における管理栄養士を多数、教員スタッフに招き、医療・福祉の現場における実践的栄養管理が行える管理栄養士の養成に重点を置いています。

また、フードマネジメント系においては、バイオテクノロジー概論、食品機能学、食品商品論など多くの関連科目を設定し、学生の多様な進路に対応した授業内容になっています。

多様な臨地実習施設を確保

管理栄養士養成施設では、三年次から臨床栄養学、公衆栄養学、

給食経営管理論の分野において、学外における実習を四週間行わなければなりません。本学は、愛知、岐阜、三重の東海三県で各施設の協力を得て、病院、福祉施設、小学校、事業所、保健所など数多くの実習先を確保しており、学生のニーズに沿った実習が選択できるのも大きな特徴です。

臨床栄養センター(仮称)新設

さらに、医療・福祉に強い管理栄養士の養成を推進するため、「臨床

床栄養センター(仮称)」を新設し、在宅栄養管理、栄養療法、運動療法の相談・指導等を行い地域の医療・福祉に密着した実践的な教育を展開していきます。

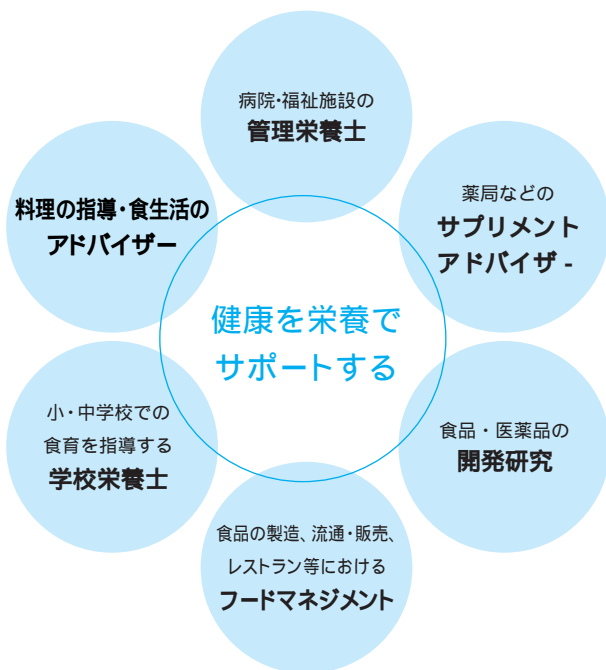
免許および資格

管理栄養学科では、次のような資格や受験資格を取得することができます。

- ・栄養士免許
- ・管理栄養士(受験資格)
- ・フードスペシャリスト(受験資格)

目標とする主な進路

管理栄養士をはじめ広い職域で活躍できる専門職



短大部キャリアデザイン学科

キャリアデザイン
人生や仕事を自分で設計できる人材の養成

井上邦雄教授
(新学科設立準備委員会委員)

短期大学部では、商経科、生活文化学科生活文化専攻、現代コミュニケーション学科の三学科を統合して、平成十七年度にキャリアデザイン学科を新設します。キャリアデザイン学科は、学生が自分の人生や仕事(キャリア)を自分で設計(デザイン)できる能力を備えた人材を養成します。

近年わが国では、若者の失業者やフリーター、離職者が増加していることが、社会問題となつていきます。キャリアデザイン学科は、キャリアデザイン論など八科目に及ぶキャリアデザイン関連科目を開設して、学生の職業観を涵養し、「なりたい自分」に向かつてキャリアデザインできる能力を養います。キャリアデザイン学科は、まさに時代の要請に応える新しい学科です。

次に、三学科を統合し、医療・福祉などの新しい分野を加えることで、キャリアデザイン学科は、メディア情報、ビジネス、生活環境、心理・福祉、国際コミュニケーションといった多様で幅広い教育を、一つの学科の中で行います。学生は、百七十の開講科目の中から、メディア情報や心理・福祉などの一つの分野を深く学ぶことができますし、一つの分野に重点を

置きながら、異なる分野の知識も合わせて、幅広く学習することもできます。キャリアデザイン学科は、このような学生の多様な要求に柔軟に対応することができると科です。

キャリアデザイン学科では、二学期にわたって少人数で編成するゼミナールを実施します。ゼミナールは、学生個々人の学習上の能力を向上させるとともに、学生生活や履修、進路などの相談に応じ、きめ細かな指導を行います。さらに、フレッシュマンセミナーを始めとして、二年間に数度の体験行事を計画しています。卒業後は、医療・福祉、一般事

務、ウェブ管理者、販売、ファッションビジネス、観光・ホテルなど、極めて多様な進路が開けています。数多くの資格の取得を授業の中で積極的に支援をして、学生個々人が自分の夢を実現できるように応援します。また、大学編入や公務員受験についても講座を設けて支援します。

盛況に後援会総会、真剣に教育懇談会

今年度の名古屋経済大学後援会総会は五月二十九日、本学7号館の大講義室を満席にして開かれました。

役員改選で二年目の留任が決まった柴田弘会長は「新卒採用などで学生の手助けをしたい」とあいさつされました。

また、末岡熙章学長は「充実した学生生活を送るため最大の努力をします」と語り、新学部設置「特集記事参照」を明らかにし、丸山学生部長、淵田就職部長の近況報告がありました。

引き続き、コミュニケーションプラザ(経済学部、経営学部、短期大学部)、プラザ(法学部)で教育懇談会を行いました。ゼミナール担当の教員全員が保護者と個々に対談、学業や日常のことを語り合いました。



教育懇談会は六月二十一日富山会場でも行い、引き続き、沖繩、長野、三重、金沢、静岡、岐阜の各会場で予定されています。

キャリアデザイン学科4つの特徴

自分の好きなようにカリキュラムが組める

知識と教養が身につく科目がたくさんある

一人ひとりの未来のために...

なりたい職業に結びつくカリキュラムが組める

就職に直結する資格がいっぱいある

世界に広がる

身近な「交通」

経営学部

佐伯陽介ゼミナール

佐伯ゼミでは主に「交通」を題材にして経済、経営の問題について学んでいます。「交通」は社会共有の財産でありながら、生活の中では当然のものとして扱われ、深く議論されることが少ない分野です。

交通論、交通経済の分野のゼミは比較的少ないのですが、この「交通」を当然あるものとして考えるのではなく、どのようにして作られたか、

ハーブで味わう

達成感・満足感

短期大学部生活文化学科

長島万弓ゼミナール

私たちのゼミではハーブ&スパイスの特徴である味と香りを楽しんでいます。そのために、エッセンシャルオイルを実験的に抽出してアロマキャンドルを作り、またスパイスの宝庫であるインドの料理をレシピ通りに作っています。それを日本人の口に合うようにアレンジしたり、ハーブの特徴を調



べて、いろいろな効能のブレンドハーブティーを楽しんだり、毎年さまざまなことにトライしています。

大学祭には展示ブースを設けて、成果を見てもらうとともに、来訪者には関連するものを試食、試飲していただき、アンケート調査をして、その結果を卒業研究の一つとしてまとめています。これらの活動は、全員で何かを成す難しさや出来たときの達成感、満足感を味わうよい機会になっていると思います。

フェイス・ツリー・フェイス



して議論するよう心がけています。ゼミの雰囲気はとても和やかで、学生から見ると、指導教員と言つよりは先輩感覚のようです。会場も演習室や研究室、コミュニケーションプラザなど、そのつど都合の良い場所気分を変えて行っています。また体育館でのスポーツなど、勉強以外も積極的に取り組んでいます。

昨年度はこのゼミからはじめての卒業生が、それぞれの活躍の場へと巣立っていきました。今後とも後輩でもある学生諸君に、多くのことを積極的に学んでもらえる場になりたいと思います。

ゴマ(私自身の研究テーマでもある)をテーマにした年には大学祭で展示ブースと模擬店(写真)に参加しました。また、岐阜県・関が原にオープンした「ゴマの郷」の見学、他ゼミナールとの交流、京都への卒業旅行など盛りだくさんの行事を展開し、社会人になってからもお互いに付き合えるよい関係がつけられました。

学生自らが計画し実施するといふ、学ぶものの主体性を大切にしたいゼミナール運営を今後も目指していきたいと思っています。

学生のメンタルヘルス

学生相談室カウンセラー 野副 紫をん



本学の学生相談室が、今年で開設十一年目を迎えます。相談者数は年々増加の一途を

たどり（表1）、教職員から学生への対応について、相談を受ける機会が非常に多くなりました。

平成十五年度の相談内容の内訳を見ますと、**精神衛生**に関する相談が最も多く、次いで**学生への対応の仕方（教職員）、対人関係**の順となっています（表2）。

また、相談室から見た最近の心の問題としては、精神的に未熟で、対人関係が苦手な学生が増えている、ささいな刺激で「キレる」学生が増えている、パニック障害や軽度の発達障害と思われる学生が見られ始めた、いじめや虐待など根の深い問題が増えているなどが挙げられます。

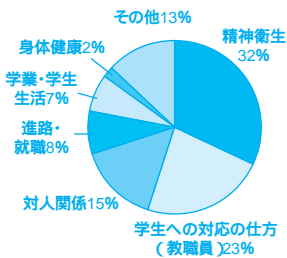
昨年十一月、大学学生委員会の主催で教員を対象とした「メンタルヘルス講演会」が開かれ、本学の大橋弘子医務局長、野副紫をんカウンセラーが本学の現状について報告し、中部大学・学生相談室の桐山雅子助

教授による講演が行われました。

桐山氏は、最近の学生の特徴として、知性に比べ情緒が育っていない、実体験が乏しく頭で考えがちである、言葉やコミュニケーションの能力が低い、常識が学習されていないなどを挙げました。学生とつきあうのにマニュアルはなく、基本は「話を聴く（心を聴く）こと」、「相手の土俵に立つこと」、そして「学んでこなかったと理解し教えること」と、つきあい方のコツを語られました。

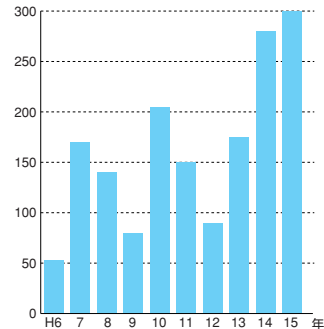
心の悩みの多様化、複雑化が指摘されています。一人ひとりの学生に対して、真摯な態度で向き合う姿勢が今、大学のスタッフ全員に求められています。

相談内容の内訳(H15年度)



<表2>

延べ相談者数の推移



<表1>

単位互換制度(他大学で単位取得)

愛知大 名古屋経済大

名古屋経済大 名古屋工業大

他の大学で開講されるさまざまな科目を履修し、所属する大学の単位として認められる制度は、愛知県内の大学に在学する学生のメリットの一つです。特別聴講学生として「単位互換履修生」の扱いを受けます。四十九大学の学長協定のもとでスタートし、三年目の平成十六年度(前期)の場合、名古屋経済大学で他大学から一名、また名古屋経済大学からは他大学で一名が履修しています。

この二名は、志望の理由を次のように述べています。

愛知大四年(現代中国学部)
名古屋経済大・岩崎一生教授
「国際取引法」

「私がこの講座を志望する動機は、国際取引に関して興味があるからです。国際取引というジャンルは、その時その時の国の内情が反映され、深く掘り下げていくと、その国の歴史や様々な現状が見えてきます。つまり、取引だけではなく、この講義からは様々な知識を得られると思います、また他大学と

いうことで緊張感も得られ、自己の向上につながると思います、講義を自己志望させていただきました」

名古屋経済大三年(経済学部)
名古屋工業大・藤田素弘助教授
「交通計画学」

「なぜ交通事故や渋滞が頻繁に起こるのか。ドライバー等の不注意にとどまらず、標識やミラーの設置場所や道路完成後に建てられた建造物などによって変わった交通量への対応策等を考え、実行すれば、事故や渋滞が発生する度合いが確実に減少すると思う。それを知ることで、自分の中で様々な変化があると思う、この講義の受講を希望します」

この制度は国公立私立の垣根を取り払い、交流・連携を深めようというものです。毎年度、前期と後期に志望者は志望動機を記入した履修志願票を教務部に提出すること。志望する大学は審査をして、人数調整の上、受け入れの可否を決めます。

消費者政策めぐる講演会

六月十六日名古屋ガーデンパレス（名古屋市中区）名古屋経済大学消費者問題研究所主催の第二十四回公開講演会が開かれました。

テーマは「二十一世紀型消費者政策の展開と消費者保護基本法改正」です。講師として糠谷真平氏（国民生活センター理事長・元経済企画庁事務次官）、松岡俊夫氏（名古屋市民経済局・消費流通課長）、原早苗氏（消費者運動家・埼玉大学講師）を招き、小木紀之所長がコーディネーターを務めました。

糠谷氏は、消費者基本法、公益通報者保護法の成立など、今年が消費者政策として画期的な年であることをふまえ、国民生活センターの今後の対応について見解を示しました。特に、PIO NET（全国消費生活情報ネットワーク・

システム）の円滑化、個人情報に関する相談への対応法、NPOとのネットワーク強化などが重要な課題になると述べました。

松岡氏は、行政の立場から消費者基本法に関する見解を述べました。特に、消費者がよかれと思つて選んだことが実際には悪い方向に作用することが多々ある、という点に注意して条例改正に取り組んでいくことを強調しました。

原氏は、消費者運動家の立場から消費者基本法、公益通報者保護法、団体訴権に関する見解を述べました。特に、消費者基本法に盛り込まれた消費者の権利、消費者契約法に関する記述の重要性、今後の消費者教育と消費者間の連携の重要性を強調しました。



地域社会特別研究室 オープン

名古屋経済大学は卒業後の進路指導と結びつけて勉学意欲を高めるため各学部で特色ある教育を実践していますが、本年度より経済学部が「地域社会特別研究室」を発足させました。

昨年度スタートした経営学部の「会計特別研究室」に次ぐものです。

木曾川河畔の落書き消し 本学の学生ら

名古屋経済大学の大学院生三人を含む学生七人と、同窓会幹事三人が、鵜飼い開きを前にした五月二十四日、犬山市の木曾川堤防のツインブリッジ周辺などで落書き消しと清掃のボランティア活動をしました。（写真は中日新聞提供）



その目標は、地域社会活性化に貢献する人材（公務員など）の養成、学部全体を活性化させる「核になる学生」の育成です。5号館に常設の研究室を開き、研究生は二十人とします。皮切りに、六月二十八日、犬山市環境部の牧野一夫部長を迎えて「行政の役割と課題」の特別講義を聴きました。

経済学部長 堀田誠三

9月に市民開放講座 英語教育センター主催

名古屋経済大学の英語教育センターは九月、英語圏の社会、文化に係る講座を市民に開放することになりました。講座内容は次の通りです。（会場はいずれも本学。開講時間は午後一時二十分～二時五十分）

- 「オリンピックとギリシャ神話」 西村賀子法学部教授
- 七日「オリンピックは宗教行事?!」 九日「英雄と怪物 善悪の戦い?」 十日「星空のロマン」伝説の宝庫をさぐる」
- 「海外旅行のための英会話」 前田アンドレア短大部助教授
- 第一回 六日 第二回 八日
- 「今たけなわの大統領選挙を三倍楽しむ方法」

宮川昇法学部教授
十三日「大統領選挙の歴史と仕組み」
十五日「大統領就任式までの日程」
十七日「大統領の権限と解任の仕組み」

受講希望者は、はがきに希望する講座名を書き、八月十八日までに、本学の英語教育センター市民開放講座係へ申込んでください。「海外旅行のための英会話」については先着順三十名までとします。

留学生が集合、学長と語り合う

就職、友人関係・・・

初めての「学長と留学生の語る会」が六月二十三日行われました。アジアの若者の教育熱が高まり、本学には中国から多勢の留学生を迎えています。末岡学長は「留学生が百人になりました。皆さんの考えを知りたいので、ざつとばらんに話してください」とあいさつしました。

三学部から十九人（いずれも二年）が出席し、丸山学生部長の司会で対話が進められ、授業料、就職、友人、食堂などについて意見、希望が出ました。中でも就職問題への関心が深く、「日本と中国のどちらに就職したいか」と質問したところ、半々でした。



学長が「日本人の学生と友達になれましたか」と尋ねると、「授業と授業の間の短い時間ではゆっくり話ができせん。学校の外ではアルバイトで余裕がない」などと悩みが聞かれました。ゼミの機会に、あるいは留学生談話室を活用して交友をつくってほしいと学長は語りかけました。

韓国の耽羅大学と調印



名古屋経済大学は四月二十二日、韓国の耽羅（タンナ）大学の高長権・耽羅大学総長を迎え、「国際交流に関する協定書」の調印式を行いました。

交わされた協定書は「平等互恵の原則に基づいて、教職員の交流学生の交流、学術情報の交換共同研究および学会の開催などに協力し、その発展に努める」となっています。

署名交換の後、両学長はそれぞれ祝意と感謝のあいさつをしました。済州島にある耽羅大学は本学とほぼ同規模で、すでに日本人学生を受け入れているそうです。

本学では平成十三年にベトナム政府の「国家と法研究所」と、また平成十四年には中国の東北大学と学術協定を結び、今回が三カ国目です。

カンボジアだより

私の受入校である王立経済法科大学で「外国人からみたカンボジア憲法史」と題した講演を夜間開講の大学院生を対象に行いました。ところが、彼らは一回きりの講演に飽きたらなかつたようです。

このことは学長の耳にも入り、結局断りきれずに無償で始めた憲法研究会はその後三ヶ月間、週一回、修了単位に

法学部助教授 四本 健二

関係なく続いています。受講者は六時過ぎにそれぞれの職場から大学に駆けつけてきます。皆、役所で働く若者たちです。

和乎達成から十年、カンボジアの法をめぐる状況も社会経済の変化とともに刻々と変わりつつあります。その中であって、一方では、カンボジアではまだまだ大学教員が不足しています。王立経済法科大でも、裁判官や検察官が非常勤

モンゴルから学長来訪

内モンゴル屈指の日本語専門学院「内蒙古智力引進外語専修学院」の張宝文学長が「写真中央」六月十六日、本学を敬訪問されました。本学との交流を深めたいと述べ、末岡学長と意見交換を行いました。また、学内を興味深げに見て回られました。



講師として、専任教員の不足を補っています。

他方、学生たちに受講の動機を尋ねたところ、「国造りの根幹だから」という模範回答から「出世の近道だから」というものまで多様でしたが、意欲満々で来ていることに変わりはありません。「お雇い外国人」が教壇に立っていた明治時代の日本の大学もこんな風だったのかも知れません。

久米さん親子、大学院(法学研究科)に通う

互いに税理士を目指して

本学の大学院に親子の大学院生が生まれたと、中日新聞に報じられました。

久米徹夫さんは二〇〇〇年に法学研究科修士課程の一期生で入学し、現在は博士課程で企業法学を専攻しています。久米優加里さんは夜遅くまで税務の勉強をする父の背中を見て思い立ち、今春、法学研究科修士課程に入学しました。同じように目標は税理士だという二人に共に学ぶ心境を書いてもらいました。



「父を追って」

修士課程一年 久米優加里

本年四月、大学院法学研究科へ入学しました。税理士を目指しています。愛知学院大学在学中から大学院への進学を考えていましたが、名古屋経済大学大学院法学研究科第一期生で博士後期課程に在籍する父から、「優秀で、熱心な教授が揃っている」と薦められ、親子揃って名古屋経済大学大学院に在籍することになりました。(兄は、岐阜大学大学院工学研究科修士課程二年在籍中で、四人家

族のうち母を除く三人が大学院生です)

所属する憲法ゼミ(新美治一教授)では、ゼミ生全員が税理士志望であり、各人の研究テーマを決める端緒として、憲法ゼミの先輩でもある父から、税制と税務行政についての基礎的な事項のレクチャーを受けました。

社会人大学院生だけあって、学問研究を現実社会と結びつけた捉え方に感心しました。一段と大きく見える父を追って、父に負けないう修士論文を書けるよう、決意を新たにしています。

「娘とともに」

博士後期課程三年 久米徹夫

四月より娘が修士課程に入学し、親子が同じ大学院のキャンパスで学ぶことになりました。大学院が社会人に門戸を開き、さらに本学においては、都心の栄サテライトキャンパスでの夜間開講があつてのことだと思えます。今後は私達と同じ親子(同時在学で先輩(後輩)大学院生や、親子同時入学の大学院生も生まれることでしょう。家庭に於ける親と子の関係が

取り沙汰される今日、親子が同じ屋根の下で学ぶことは意義のあることかもしれません。

私自身は、四月から博士後期課程三年です。博士後期課程には十三名が在籍していますが、年に二〜三回懇親会で情報交換し、刺激し合い励まし合っています。この一年は論文作成等で大変厳しい年になりそうです。先輩として後輩の娘の面倒を見る余裕など無くなるかも知れませんが、娘の頑張りが私への刺激になれば、これもまた良でしょう。

「資格」を一つ一つ取得

法学部三年 池村光史 みっお

私は三重県内の進学高校に入学したが、単車が原因で退学、フリーターとなる。たまたま職場に来た中学時代の恩師に説得され、次の高校に無事入学して一年間を楽しく過ごした。



しかし、徐々に勉強に興味湧いてきたところで、高校を自主退学。大学進学のため

平日は予備校、空いた日に単制の高校に行くことを決意した。必要な単位さえ修得すれば卒業ができる高校だ。二年分の単位を一年半で取れた。結果的に三つの高校に行ったことになるが、良い経験ができたと思いき直っている。

チャンス! この大学の法学部に入ると思った動機も変わっている。中学生のとき、世の中にはどんな犯罪があるのか、その犯



まずタイトルです。中国語読みでは「フオクオズ」となりますが、いつからか「ひなべし」と読むようになりまし。少し変な読み方ですが、読みやすく気にしています。四川省の激辛鍋の名前からとりました。中国の現代文学を中心にサブカルチャーを取り扱っている雑誌で、私個人が好き勝手に作っています。

私が所属している研究会のメンバーを対象に、会報とは別に肩のこらない楽しい読み物を作ってみようと思いましたが、ところが、元来ゴソゴソこういうことをするのが好きなたちで、最初はコピーで印刷したパンフレットのようなものでしたが、どんどんエスクレートしていき、ついには版下を作った印刷会社に送り冊子を作ってもらったようになってしまいました。

最初は月に一回のペースでした

が、やがて二か月に一回に、それが今では年三回のペースになってしまっています。採算も取れませんし、版下のデータ作りもたいへんなのですが、下手の横好きでやめられず、始めてかれこれ十三年、号数は六一号になりました。

最新号には、小説や作家の手紙文の翻訳、最新のアジア映画評論、演劇評論、チベット紀行文、衛星放送オタクの番組紹介、エッセイなどの記事が掲載されています。

これからも、ちよつとほかにない、楽しくてどこか怪しい、マニアックなところもある、気になってしかたのない雑誌にしていきたいと考えています。

(一〇四ページ)



罪にはどんな罰があるのかに興味をもったからだ。

四年間の大学生活は資格取得のチャンスだと思つ。いつも何か目的を持っていたい。資格を取得することで大学の単位が得られるのも魅力だ。

一、二年次に取得した資格は、宅地建物取引主任者資格試験、法学検定四級・三級、ビジネス実務法務検定三級、秘書検定三級。三年次には法学検定二級、行政書士試験などを受ける予定である。いつかは司法試験にも挑戦してみたい。

私の場合、自信がなくてもまづ願書を取り寄せ、申し込み、当面の目標をつくってしまう。今日から始めれば合格、明日からなら不合格と自分に思わせる

大学の4年間

る。授業はわざと間隔を空けてとり、空き時間を利用する。場所は学校の図書館、夜八時まで応援してくれる。試験前以外は学生が少なく、快適だ。

もちろん、勉強ばかりするのではなく、旅行へ出かけたり、アルバイトをしたり、入部で汗を流したりすることで、目標への力づけとなる。昨年の夏には車で屋久島に行き、島内ではヒッチハイクで移動したりもした。アルバイトは週二回、塾の講師をしている。

法科大学院を目指し、春から予備校にも通い始めた。小さな目標をクリアしていくことが大きな目標へつながっていく道だと信じている。

船橋洋一氏を招き、世界情勢講演会



名古屋経済大学は国際舞台で活躍されている朝日新聞コラムニスト

ト 船橋洋一氏を招き、十月十三日(水)午後二時~四時、名古屋の名鉄ニューグランドホテルで

激動する世界情勢についての講演会を行います(入場無料)。

船橋氏は朝日新聞の北京、ワシントン特派員、アメリカ総局長などを務め、日米経済摩擦、中国問題など著書多数。現在、同紙の木曜朝刊に「日本@世界」を執筆されています。

名経祭

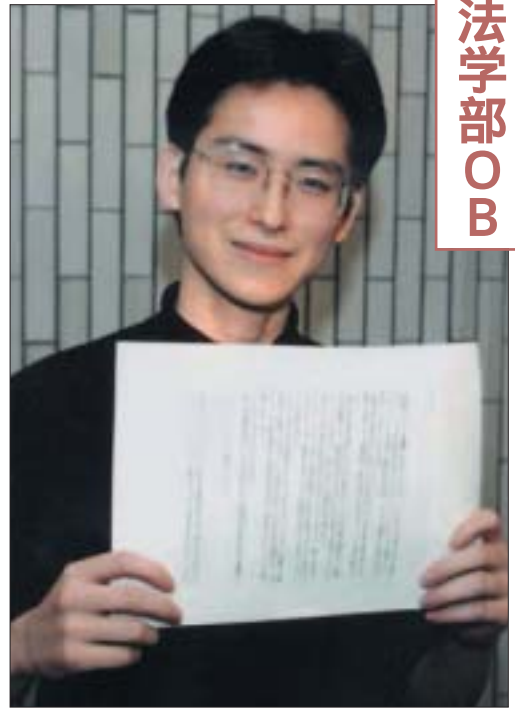
10月23日・24日

(テーマ) Garden ~笑顔が咲く場所~

以前の「双六祭」を「名経祭」に名称を変更して二回目となる大学祭は十月二十二日(金)に前夜祭、二十三日(土)二十四日(日)に本祭を開催することになりました。テーマは「Garden」笑顔が咲く場所。大学祭に来てくれた人すべてが笑顔でいられるように、そして誰もが笑顔という花を咲かせることができるようにと願いを込めています。

実行委員会(東靖浩委員長)経営学部二年は大学祭を盛り上げるため、積極的に企画案の提案、模擬店の出店を行ってほしいと希望しています。

法学部OB



史上最年少の受賞者

「自然を舞台にしました」

本学の法学部を一年卒業した神山裕右さん(二十四)の小説「カタコンベ」が、五月十九日、江戸川乱歩賞(日本推理作家協会)の第五十回受賞作品に決まりました。

一九五五年創設の同賞の最年少受賞者として神山さんはマスコミに取り上

げられました。作品は八月に講談社から発刊されますが、洞窟で起きた殺人事件をめぐるダイバーの活躍を描いたサスペンス小説です。

「高校生の時から小説のようなものを書いてきた。二次選考に残ればいいと思っていた。自然が好きなので自然を舞台にしたかった」(中日新聞)と神山さんは感想を述べています。これからの創作活動が楽しみです。

本学図書館で読書会を開く事も検討しています。

短大部のフレッシュマン・セミナー

— 入学直後、打ち溶ける —



入学間もない四月六〜七日、短期大学部は犬山市内でフレッシュマン・セミナーを開催しました。

保育科は市のフロイデホールで研修後、市内を散策。木曾川縁の旅館に宿泊し、二日目は市体育館で親睦会を開き、国宝犬山城を見学しました。

商経科、生活文化学科、現代コミュニケーション学科は入鹿池のほとりの施設に宿泊して研修を行い、翌日は博物館明治村を見学しました。

入学早々の合宿に不安や戸惑いを覚えた人もいたようです。しかし、寝食を共にし、お風呂も一緒に入って、次第に打ち溶け合うことができたという感想が多く寄せられました。